

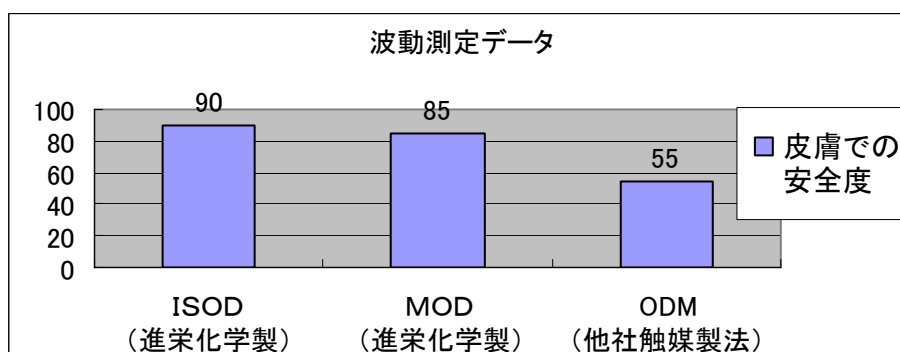
皮膚科医院で採用されているエステル油 **ISOD**

化粧品、医薬部外品 表示名称：イソステアリン酸オクチルドデシル（外原規 2006）

大豆由来のイソステアリン酸とヤシ油、パーム核油由来の精製オクチルドデカノールを、独自の無触媒製法で反応させた、ほとんど無色透明な低粘度の飽和エステル油です。

- **ISOD**は、弊社の特殊な釜で皮膚刺激の原因と考えられる、**触媒を一切使用しない製法**ですので、安心してご使用頂けます。
通常エステル類は、簡単に早く反応させる為、製造時に触媒を入れますが、出来上がったエステルには微量の触媒がどうしても残存してしまいます。
この触媒はパッチテスト等では、出てきませんが化粧品は、長期間お肌に使用し、それが累積しますのでお肌の為にもよくありません。
- **ISOD**は、炭素数が相当大きいにもかかわらず（炭素数38）、低温（-10℃）でも液体であり、凝固点が低い。適度な分子構造上、水蒸気透過性、皮膚の代謝作用を阻害せず、断熱、放熱等の機能的制御を妨げない、等の優れた性質を持っております。
- **ISOD**は、二重結合が無い為、乳化物中で加水分解される事なく、また空気中でも酸化されにくい油液です。某大手メーカー様は、「**酸化しやすい油不使用**」と表示されています。
- **ISOD**は弊社が、**特許を取得している油剤**です。（特許第2972416号）
- 波動測定で**ISOD**を評価した結果、無触媒エステルは全体として、皮膚への安全性、アトピー肌、アレルギー肌に対し、かなり高い数値で安全であることが認められました。またベビーオイルや化粧品、医薬部外品の基剤として幅広い用途が期待されます。

アキュプロIIによる波動測定データ



皮膚科医院で採用されているエステル油 I S O D

エステル化反応で触媒等を使用すると、どうしても微量の触媒、有機溶媒あるいは水等が残存し、この微量に残存したものが安定性を悪くし、加水分解を促進し、皮膚刺激の原因になります。

弊社の I S O D は、精製した原料を使用し、エステル化反応時、酸、アルカリ、金属類の触媒等、又、反応や抽出のための有機溶媒類は、一切使用しない特殊なエステル化法を採用して、製造しております。お陰様で弊社 I S O D は、化粧品メーカー様をはじめ、某皮膚科医院の基剤に採用されています。大阪の某皮膚科医院には、水でも反応してしまうアレルギー性皮膚炎や、様々なアトピー患者様が沢山来院されます。そこでこの皮膚科医院では、通常処方箋で出されるメーカー品の軟膏ではあわない患者様の為、その患者様個人に合わせた軟膏等を手作りされています。

以前他社の油剤を使用した結果、臨床で悪化する患者様が出たとの事、そこで弊社の I S O D を臨床テストして頂き、**皮膚炎の患者様にも安全で、使用できる事が判明**。現在も尚、基剤として約7年間ずっとお使い頂いております。このように I S O D は、健康な肌の方はもちろん、少々肌にトラブルのある方にも安心して長年お使い頂ける、安全な油性基剤です。

某皮膚科医院で製造されている製剤

